

看護連盟だより 75 号に寄せてご挨拶

平素より看護連盟の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

医療現場では、地球温暖化や高齢化の影響により、熱中症対応や高齢者ケアなど多忙な日々が続いていることと存じます。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

6月の2025年度総会には多くの皆様にご参会いただき、無事終了いたしました。28年間にわたり看護連盟を支えてくださった渡辺瑛子顧問が今期で退任されました。深く感謝申し上げます。7月からは新体制のもと、参議院選挙活動にもご協力いただき、石田まさひろ議員の3期目当選につながり看護政策を前進させるための基盤を守ることができました。看護連盟は、看護協会が掲げる政策を実現するため、今後も議員と連携し活動を続けてまいります。また、栃木県訪問看護ステーション協議会の河野順子前会長が「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章されましたことをご報告し、皆様とともにお祝い申し上げます。

今後とも、皆様からの変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



栃木県看護連盟会長

小倉佳子

第27回参議院選挙で石田まさひろ候補が3度目の当選を果たしました。

都道府県看護連盟と支援者の皆様が連携し、17日間の選挙期間を全力で戦い抜いた結果です。お疲れ様でした。

今回は情報共有・伝達をLINEや動画等を活用しました。日を追うごとに情報が多くなり、各都道府県の活動を共有することで一体感が高まる様子を感じました。また、青年部の活動、動画配信も大きな力となりました。

選挙戦を振り返ると、関係者が一丸となって活動していることを肌で感じていたので、152,649票という獲得票数に、「なぜ？」という思いが残りました。皆さんは獲得票数をどう捉えたのでしょうか？改めて、選挙の難しさを痛感しています。

一方で、これまで石田議員が推進してきた看護職の処遇改善、看護職員不足の対処、診療報酬の基本的な考え方の改定等、看護政策の実現に向け、さらに前進できる喜びを、皆様と共に分かち合いたいと思います。



日本看護連盟会長

高原静子

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。先日の参議院議員選挙では、石田まさひろ議員が無事当選することができました。厳しい選挙戦となりましたが、これもひとえに皆様お一人おひとりの力強いご支持の賜物です。大変お疲れ様でございました。

私は昨年に引き続き第二次石破内閣文部科学大臣として、日々文科行政に取り組んでいます。これまで医療的ケア児への対応、看護教育のあり方等に取り組んできた実績を生かし、現場の声を政策につなげて「誰も取り残さない」教育の実現に努めて参ります。

これまで同様、看護は命を慈しみ、大切な人を護る素晴らしい仕事であると、次世代に伝えられるように、看護職の地位向上や環境改善にも、皆様と共に全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。



衆議院議員・文部科学大臣

あべ俊子



参議院議員

石田 昌宏

※選挙後の国会議員は、機関誌を利用して当選に関する挨拶行為をすることができません（公職選挙法第178条）。石田昌宏議員には、これからの看護政策に取り組む抱負を語っていただきました。

栃木県看護連盟の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。酷暑や荒天の中でも、変わらぬ期待と声援をいただけることが大きな支えとなっております。これからも、国政の場において看護・医療・福祉政策に全力で取り組んで参ります。

病院や介護施設の経営は厳しさを増し、医療・介護体制はかつてない危機に直面しています。この現状を打開するためには、物価高騰や人件費上昇に対応した診療・介護報酬の大幅な引き上げが必要です。それは、現場の皆様が「このまま看護を続けていきたい」と思える処遇と環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

こうした施策を通じて、皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる職場づくりを目指しています。その実現に向けて、人員確保、業務の効率化等を進め、看護の「量」を守りながら、「質」の向上にも力を尽くして参ります。

今後も現場の声を国政に届けて参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員

友納 りお

栃木県看護連盟の皆さま、こんにちは！

第27回参議院通常選挙において、石田まさひろ議員が3度目の当選を果たされました。厳しいなかでも、このような結果をいただいたことは、皆さまの看護政策推進へ向けた強い思いの表れだと考えています。

今年の通常国会は、内閣府大臣政務官として迎えました。政務官としての担務は幅広く、子ども・子育て政策から、共生共助、孤独・孤立対策、経済安全保障、宇宙、科学技術まで多岐に渡ります。こども家庭庁の政策は、母子保健を中心に、看護と関連するものも多く、これまでの経験を活かしつつ取り組みました。以前、一国会議員の立場で提言した「子ども・子育てDX」の政策がこども家庭庁でしっかりと前進していることは大変喜ばしいことでした。

引き続き、夜勤看護職員確保対策、ハラスメント、訪問看護、医療安全、看護教育、看護の専門性の拡大など看護政策にも取り組んでいます。石田議員と協力をしながら、国政の場でしっかりと看護の課題の解決に努めて参ります。



足利市議会議員（看護師）

中島 まゆみ

今夏の参議院選挙では、看護連盟をはじめ多くの皆さまのご尽力により、石田まさひろ議員が引き続き国政で看護の声を届けられることとなりました。この時代においてとても重要で、心強いことです。私も市民に最も近い立場の議員として、市・県・国の議員と連携し、現場の声をまちづくりや政策へ生かしてまいります。

私事ですが、今年4月に第二子を出産し、働きながら子育てをする中で、栃木県内の看護職の皆さまが地域や家庭を支えてくださっていると改めて実感いたしました。これからもこの地域の健康と安心のためご尽力をお願いするとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたします。